

2026 年 10 月 6 日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

CEATEC AWARD 2026

総務大臣賞・経済産業大臣賞・デジタル大臣賞
モビリティイノベーション賞を含む各賞がそれぞれ決定

CEATEC® AWARD

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA:代表理事/会長 新野 隆 日本電気株式会社 取締役 会長) は、「CEATEC 2026 (シーテック 2026)」にて展示される技術・製品・サービス等を対象とした「CEATEC AWARD 2026」の総務大臣賞、経済産業大臣賞、デジタル大臣賞ならびにモビリティイノベーション賞をはじめとする各賞の受賞案件が決定したと発表しました。CEATEC AWARD は日本中、そして世界中の最先端テクノロジーが集まる CEATEC において、学術的・技術的観点に加え、市場性や将来性など多面的な視点から、特にイノベーション性が高く優れていると評価された出展製品・技術・サービスを表彰する制度です。優れた技術を広く社会に届け、新たな価値や市場の創造・発展を促すとともに、産業のさらなる活性化につなげることを目的としています。各賞は、関係学会および専門メディア等で構成される CEATEC AWARD 審査委員会による厳正な審査を経て選出されました。

CEATEC AWARD 2026 総務大臣賞

フィジカル AI の“耳”：多様な現場の音から、異常音も人の声も聞き分ける
「タスク汎用音源分離技術 (TUSS)」
(三菱電機グループ)

CEATEC AWARD 2026 経済産業大臣賞

スマートグラス用ディスプレイ向けメタオプティクスミラー
(TDK 株式会社)

CEATEC AWARD 2026 デジタル大臣賞

「ハーモナイズドソサエティ」の実現を支える AI ソリューション群
「HMAX™ by Hitachi」
(株式会社日立製作所)

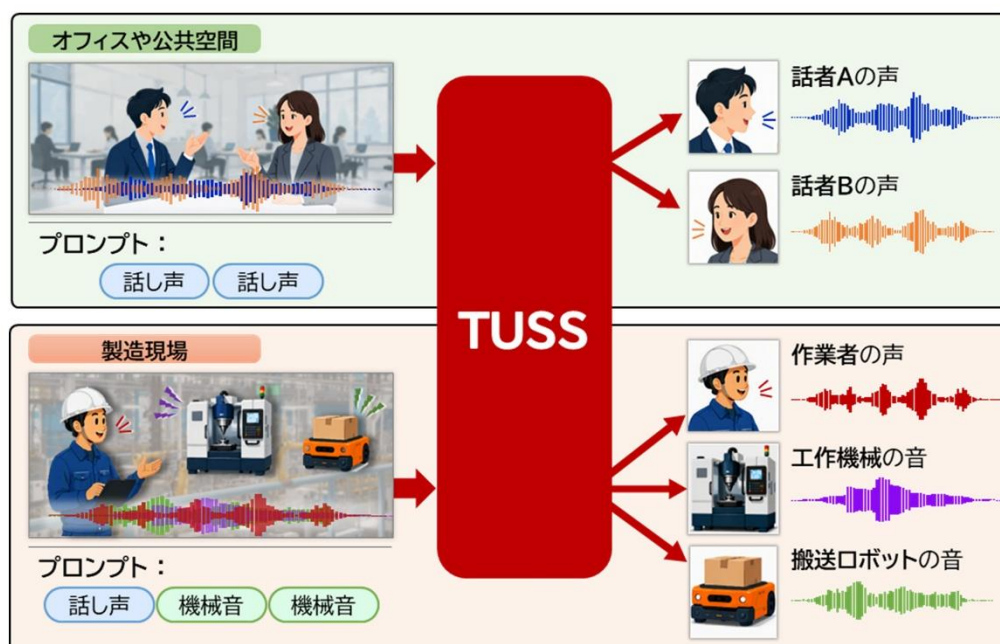
上記の概要や選評および部門賞の詳細は次ページ以降をご参照ください。

< CEATEC AWARD 2026 受賞一覧 >

CEATEC AWARD 2026 総務大臣賞

フィジカル AI の“耳”：多様な現場の音から、異常音も人の声も聞き分ける
「タスク汎用音源分離技術（TUSS）」

三菱電機グループ（一般展示 | ブース番号：8H412）



【案件概要】

多様な環境下でも音を正確に聞き分ける聴覚認識機能をフィジカル AI に与えることができる「タスク汎用音源分離技術（TUSS）」を開発。分離・抽出したい音をプロンプトで指定することで、マイクで收音した混合音から目的の音を音源ごとに分離・抽出する処理を単一の AI モデルで実現する本技術は、音を起点とした現場の複雑な状況認識が可能となり、フィジカル AI の信頼性向上に貢献します。

【選評】

工場や公共空間では、機械音、人の声、環境ノイズが重なり、AI が必要な音を正確に捉えることが難しい。三菱電機グループの「タスク汎用音源分離技術（TUSS）」は、收音した混合音から分離・抽出したい音の種類を指定し、音声分離、音声強調、機械音分離など、従来は用途ごとに専用モデルが必要だった処理を単一の AI モデルで実現する。現場や目的が変わってもモデルを作り分ける必要がなく、柔軟に対応できる点が特徴だ。

処理の高速化やマイク本数に依存しない設計により、ロボットや監視機器、設備機器などへの実装も想定する。画像・映像中心だったフィジカル AI に聴覚情報を加え、異常検知や音声認識、現場記録などの精度向上を支える。音をデータとして高度に活用し、AI が現実世界を理解する幅を広げる基盤技術として、幅広い展開が期待される。

CEATEC AWARD 2026 経済産業大臣賞

スマートグラス用ディスプレイ向けメタオプティクスミラー

TDK 株式会社（一般展示 | ブース番号：5H261）



【案件概要】

スマートグラスは、AI 技術と連携した次世代端末として期待されています。顔に装着するためスタイリッシュさが非常に重要ですが、スマートグラス向けのディスプレイは対面から虹模様が見えるなど、大きな課題がありました。そこで TDK は、微細ナノ構造によるメタオプティクスミラーを用いたディスプレイを開発しました。これにより従来の光学系の限界を打破し、スタイリッシュなディスプレイを実現することができました。

【選評】

AI との連携で次世代端末として期待されるスマートグラスでは、表示性能に加え、日常的に装着できるデザイン性や光学系の小型・薄型化が普及の鍵となる。TDK は、ナノサイズの反射構造で光の反射方向を制御する「メタオプティクスミラー」を開発。網膜直接描画型ディスプレイで眼前に必要な大きな曲面ミラーを薄型・平坦化し、眼鏡レンズへの埋め込みを可能にした。光干渉による虹模様を抑えつつ高い透明度を確保し、通常の眼鏡に近い外観を実現する。

従来の網膜直接描画方式が抱えていた外観上の制約を、ナノ構造を用いた部品技術から解決し、高価な導波路に依存しない光学系の簡素化にもつながる。スマートグラスの実用化を前進させ、次世代インターフェースの市場形成を支えるものづくり技術として、今後の展開が期待される。

CEATEC AWARD 2026 デジタル大臣賞

「ハーモナイズドソサエティ」の実現を支える AI ソリューション群 「HMAX™ by Hitachi」

株式会社日立製作所（一般展示 | ブース番号：7H010）



【案件概要】

HMAX は日立が日本企業発でグローバルに提供する社会インフラ向け AI ソリューション群。鉄道、電力、産業、金融などのミッションクリティカル分野を AI とデータでつなぎ、運用・保守・制御・意思決定を高度化。長年培った OT・IT・プロダクト技術とドメインナレッジを活用し、安全・安心を確保しつつ、社会インフラを継続的に最適化・運用高度化を実現。持続可能でレジリエントな Society 5.0 の実現に貢献。

【選評】

人材不足や熟練技術者の減少、設備の老朽化など、社会インフラを支える現場の課題は深刻化している。「HMAX™ by Hitachi」は、鉄道、電力、産業、金融などを対象に、日立が培ってきた OT（制御・運用技術）、IT、プロダクト技術、ドメインナレッジと AI を組み合わせ、運用・保守・制御・意思決定を高度化する AI ソリューション群。現場のデータを分析するだけでなく、その結果を実際の運用や制御に反映し、継続的な改善につなげる。

安全性や信頼性が不可欠な社会インフラで、AI を実際に動く設備やシステムへつなぐ実装力が特徴。個別設備の予兆保全や運用効率化から、複数の設備・業務を横断した最適化へと発展させる構想も持つ。AI を社会インフラの安全・安心とレジリエンス向上につなげる取り組みとして、今後の展開に期待が寄せられた。

CEATEC AWARD 2026 優秀賞

排水レス循環型洗濯システム「トリプルフリーランドリー」

シャープ株式会社（一般展示 | ブース番号：5H340）



※イメージ図

【案件概要】

排水レス循環型洗濯システムは、洗濯水を繰り返し再利用できる洗濯システムです。洗濯水の浄化に最適化した独自のフィルターが洗濯排水と同時並行でろ過を行い、洗濯に適した水を再生することから大幅な節水を実現しました。システム小型化の実現により給排水設備がない様々な場所での設置が可能となり、災害時の避難所など給排水設備の確保が困難な環境や、水資源が限られる地域においても、衛生環境の維持・向上に貢献します。

【選評】

災害時の避難所では、断水や排水設備の制約で洗濯が難しくなり、衣類を清潔に保つという日常の衛生を維持しにくくなる。シャープの「トリプルフリーランドリー」は、洗濯排水を多段階で浄化して再利用する循環型洗濯システム。平時は通常のランドリーとして使い、有事には循環モードへ切り替えることで、固定の給排水設備が使えない状況でも洗濯を継続できる仕組みを目指した。

災害専用品を備蓄するのではなく、平時に使っている設備を有事にもそのまま活用する「フェーズフリー」の発想が特徴だ。固定の給排水設備に依存しないため、避難所だけでなく、水量が限られる船舶や離島、水道インフラが未整備な地域への展開も想定する。「どこでも使える洗濯機」という価値を家電技術から具体化し、水の制約がある場所でも洗濯という生活インフラを維持する新しい選択肢を示した点が評価された。

CEATEC AWARD 2026 優秀賞

Physical AI の“データの入口”ー 人の手指動作を高精度に捉え、AI・ロボットへつなぐハンドトラッキンググローブ

株式会社村田製作所 / メルトインターフェーステクノロジーズ株式会社
(一般展示 | ブース番号 : 7H340)



【案件概要】

人の手に染み込んだ暗黙知を、AI・ロボットが学ぶデータへ。ムラタ独自の小型・高感度 LF アンテナを搭載したメルトインターフェーステクノロジーズの ContactGlove3 Pro は、EMF(電磁場)方式により、遮蔽に強く外部カメラ不要で 5 本指の動きを高精度に計測。8 時間以上連続稼働し、取得データをロボット学習・遠隔操作・技能継承に活用することで、Physical AI 時代の実世界データの入口となる。

【選評】

Physical AI が人の仕事を支援・代替していくには、現実の作業を学ぶための質の高いデータが欠かせない。とりわけ手指の細かな動きは、カメラでは遮蔽が起き、IMU では誤差が蓄積するため、長時間安定して収集しにくい。村田製作所とメルトインターフェーステクノロジーズの「ContactGlove3 Pro」は、電磁場 (EMF) 方式で 5 本指の位置・姿勢を捉え、実作業を継続的にデータ化する。

単なる骨格座標ではなく、「どの工程で何をしている時の動作か」という作業文脈と結びつけることで、AI にとって意味のあるデータになる。熟練動作を高品質なデータとして蓄積できれば、ロボット学習や技能継承、自動化が難しかった細かな手作業へ活用範囲が広がる。ヒューマノイドを含む Physical AI の社会実装を、データの入口から支える基盤技術として評価された。

CEATEC AWARD 2026 優秀賞

においセンシング x AI で挑む「がん」の早期発見
～兆しを嗅ぎとる 0 次スクリーニング～

太陽誘電株式会社（一般展示 | ブース番号：8H030）



【案件概要】

においセンサを使用したがんスクリーニングは、尿中の成分から生体の変化を"非侵襲・リアルタイム"で捉える今までにないサービスです。独自の QCM センサ、感応膜、AI 解析技術により高感度なにおいセンシングを実現。日常生活の中で継続的に異常の兆候を捉え、無自覚段階で受診行動を促すことで、このような溶け込むスクリーニングを通じて、ウェルビーイング社会の実現に貢献します。

【選評】

がんの早期発見では、検査技術の高度化だけでなく、自覚症状がない人を検査へつなげることも自体が課題となる。太陽誘電は、尿に含まれる VOC（揮発性有機化合物）の反応パターンを独自の QCM センサで捉え、AI で解析するにおいセンシング技術を開発。身体への負担が少ないサンプルから変化を捉え、必要に応じて医療機関での検査を促す「0 次スクリーニング」を提案する。診断を置き換えるのではなく、その前に「気づき」をつくる発想である。

電子部品で培った材料・薄膜・微細加工技術を健康分野へ展開し、人が感覚的に捉えてきた「におい」を比較可能なデータに変える。日常生活の側に受診のきっかけを増やすことで、検診・診断技術だけでは届きにくかった「そもそも検査を受ける」という行動につなげる。がんの早期発見を、医療技術だけでなく受診行動につなげるところから支えようとする取り組みとして評価された。

CEATEC AWARD 2026 各賞

■イノベーション賞

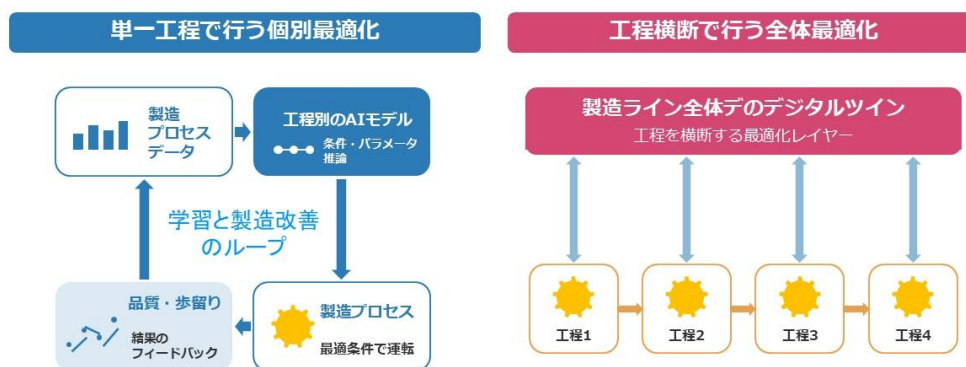
プロセス全体最適化プラットフォーム

アイクリスタル株式会社

(ネクストジェネレーションパーク | ブース番号 : 4H019)



工程単位と工程横断の両面から、品質や歩留まりを高める
製造条件最適化ソリューションをサービスとして提供



【案件概要】

AIと物理シミュレーションを融合したプロセスインフォマティクス (PI) により、製造ライン全体をデジタルツイン上で再現・接続し、複数工程を一気通貫で最適化するプラットフォームです。少量データから高精度モデルを構築することにより、試作回数や開発期間の大幅短縮を実現し、あらゆるモノづくり産業における品質向上、歩留改善、および開発・製造プロセスのDX推進に貢献します。

【選評】

製造業でAIによる不良検知が進んでも、不良を早く見つけるだけでは不良そのものは減らない。アイクリスタルの「プロセス全体最適化プラットフォーム」は、設備、工程、検査などに分散した製造データをつなぎ、製造条件と結果の関係をAIでモデル化。各工程のデジタルツインを連結し、単一工程の局所最適ではなく、前後工程を含めて製品全体の性能や歩留を高める条件を探索する。

現場で繰り返してきた試行錯誤をデジタル空間へ移し、熟練者の経験や工程ごとの知見を再利用できるデータ資産へ変えることは、製造開発の進め方そのものを変える。解析支援に加え、データ基盤整備や人材育成まで含め、多様な製造現場で実践を重ねている点を強みとする。部分最適と属人的なノウハウに頼るものづくりから、データ駆動で全体最適を回す開発へ転換する実装力が評価された。

■イノベーション賞

外科手術支援のための視覚・言語統合型 AI 基盤モデル
～手術の文脈を理解する、次世代 Surgical AI～

Direava 株式会社 (NEDO) (一般展示 | ブース番号 : 5H440)



外科特化型生成AI「Surgical VLM」
手術状況を理解し外科医と対話する“外科の頭脳”
NEDO/経済産業省「GENIAC」採択 | 慶應義塾大学病院にて臨床実証を完了

【案件概要】

術中の内視鏡映像をリアルタイム解析して解剖構造や手術工程を認識し、「何に注意すべきか」「次に何をすべきか」を日本語で対話提示する国内初の外科特化型生成 AI。専門医監修データのみを学習しハルシネーションを抑制。大学病院の手術室でのリアルタイム実証で解剖学的正確性 84.7%、臨床的有用性 82.9%を達成。手術教育から術中支援、将来の自動化まで支える「外科の頭脳」。

【選評】

外科手術を支援する AI は、映像から臓器や血管を認識する「目」の役割が中心だった。Direava の「Surgical VLM」は、内視鏡映像から解剖構造や手術状況を理解し、言語で説明・対話する視覚・言語統合型の外科特化生成 AI。外科医が自ら構築・監修した専門データを学習に用い、大学病院の手術室でリアルタイム実証を行いながら、まず手術教育から段階的な導入を進めようとしている。

特徴は、汎用 AI を医療へ持ち込むのではなく、外科医自身が「何を見るべきか」「何を伝えるべきか」を専門データと評価基準へ落とし込んでいる点だ。若手医師や医学生が手術映像から専門家の判断文脈を学べる環境をつくり、その先に術中の確認・提案支援を見据える。外科医不足や教育機会の地域・経験差という課題に対し、専門知を共有可能な形へ変える新しい基盤として、今後の実用化と展開に期待が寄せられた。

■グローバルイノベーション賞

NoorNation for Renewable Energy

NoorNation（グローバルパーク | ブース番号：4H501）



【案件概要】

LifeBox は、農業や農村地域向けに清潔な電力と安全な水を供給するバッテリーレス太陽光ソリューションです。太陽光発電・揚水・水処理を1つの即用型システムに統合し、ディーゼル発電機等への依存を低減します。IoT 遠隔監視により稼働状況や水・電力生産量をリアルタイムで可視化可能。ニーズに応じた拡張性も備え、エネルギーと水を一体で提供する持続可能な信頼性の高いインフラを実現します。

【選評】

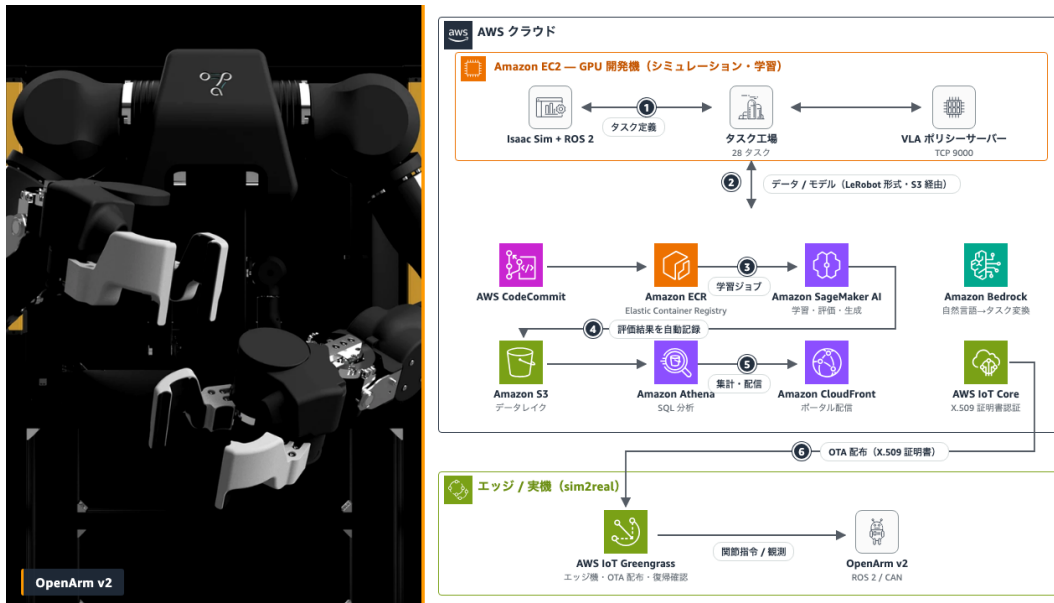
電力網や水インフラが十分に整備されていない地域に向けて、太陽光発電、揚水、水処理を一体化したモジュール型のソリューション。バッテリーを使用せず、IoT による遠隔監視・制御にも対応することで、ディーゼル発電機や不安定な送電網への依存を減らしながら、クリーンエネルギーと安全な水を供給する。用途や規模に応じてシステムを拡張でき、農業や農村コミュニティなど幅広い活用を想定している。

太陽光発電や水処理という個々の技術だけでなく、それらを一つのパッケージとして組み合わせ、地域のインフラ課題に対応するという着眼点が評価された。日本国内での活用に限らず、世界各地が抱えるエネルギーや水の課題に対応できる社会的意義と、グローバルに展開できるポテンシャルにも期待が寄せられた。

■トランスフォーメーション賞

AI エージェントがロボットを育てる —
一行の指示から実機までをつなぐ Physical AI 自律 R&D 基盤

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
(X (Transformation) パーク | ブース番号 : 4H535)



【案件概要】

ロボットに新しい作業をさせるには、人が教え、試し、直す繰り返しが必要で、時間も人手もかかります。本展示は、この繰り返しが生成 AI のエージェントが人の代わりに回します。AI が練習用の仮想空間と手本を作り、Physical AI に学ばせ、採点し、悪い所を直して次へ進む。この輪 (Agent Loop) は人なしで回り続けます。会場では、実機のロボットまでつないだこの輪を AWS で構築し、お見せします。

【選評】

Physical AI の社会実装では、ロボットや基盤モデルの性能だけでなく、現場ごとの環境構築、動作設計、評価・修正に多くの専門人材と時間を要する。AWS は、ソフトウェア開発で進む AI エージェントの自律的な改善ループを Physical AI の R&D へ拡張。シミュレーターで仮想環境の構築から試行・評価・修正までを AI が回し、生成した制御コードを実機へ配信、現場データをクラウドへ戻して再改善する「Agent Loop」を、実機を含めて検証している。

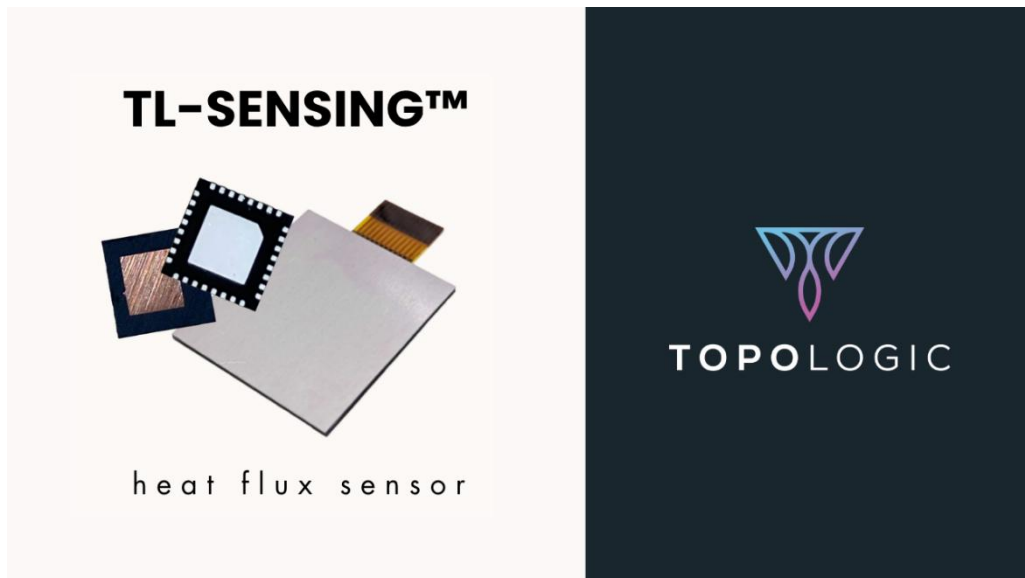
狙いは、ロボットそのものではなく「ロボットを育てる工程」の変革だ。人は動作を一つずつ作り込む役割から、AI が試行錯誤する環境やルールを設計し、その結果を監督する側へ移る。仮想環境で失敗を吸収し、実機では人の承認と AI の外側に置く安全制約を組み合わせる。現場ごとの調整負担を減らし、Physical AI 導入の速度と裾野を広げる R&D 基盤として、今後の展開に期待が寄せられた。

■ネクストジェネレーション賞

常識を覆す新素材×超高速「熱」検知技術で世界の市場を切り拓く

TopoLogic 株式会社

(ネクストジェネレーションパーク | ブース番号：4H141)



【案件概要】

東京大学発のディープテックスタートアップ、TopoLogic は、革新的なトポロジカル材料を活用した熱流束センサ「TL-SENSING」を開発しています。超高速で発熱そのものを検知する技術により、バッテリーの異常発熱検知をはじめ、人・動物の熱に関するサービス、水素センシング、産業機器の予兆検知など幅広い分野への応用を行っています。様々なシステムへの組み込みを実現し、新たな市場創出を世界で実行します。

【選評】

機器の故障やバッテリーの異常発熱は、温度上昇が現れてからでは対応が遅れることがある。TopoLogic の「TL-SENSING」は、トポロジカル物質の異常ネルンスト効果を利用し、温度ではなく熱エネルギーの流れる方向と大きさを捉える熱流束センサ。小型・薄型で高速応答する特徴を生かし、研究・評価用途が中心だった熱流束計測を、機器へ組み込むセンシングへ広げようとしている。

熱を「結果として測るもの」から「予兆を捉え、制御に使う情報」へ変えられれば、バッテリーやパワー半導体の安全監視、産業設備の予兆保全、データセンターの熱管理、水素漏れ検知などへ応用が広がる。「熱の流れ」という新しい情報軸は、安全性と省エネルギーの両面から機器やシステムの設計を変える可能性を持つ。新たなセンシング市場を切り拓く基盤デバイスとして、今後の実用化と展開に期待が寄せられる。

■ネクストジェネレーション賞

TRAILS — スマホのみで GPS の届かない場所でも位置測位できる空間 AI

zeteoh 株式会社

(ネクストジェネレーションパーク | ブース番号：4H242)

Spatial(空間)AI

TRAILS



【案件概要】

アンカーも Wi-Fi も不要。スマートフォンやウェアラブル単体で、GPS の届かない屋内・地下・トンネルでも人や資産の位置を 1~3m 精度で測位する空間 AI「TRAILS」。慣性オドメトリの学術ベンチマークで最先端手法を上回り、未学習の建物でも初日から動作。走行中の新幹線車内 (285km/h) で JR 東海が第三者検証済み。消防・災害対応から産業現場のデータ化までフィジカル AI の基盤を築く。基本特許査定済。

【選評】

工場、地下、トンネルなど GPS が届かない空間では、人や物の位置・動線を把握するためにビーコンや Wi-Fi などの固定設備を設置する方式が多く、導入・保守の負担が継続的なデータ取得の壁になってきた。zeteoh の「TRAILS」は、スマートフォンなどの慣性センサ情報を学習済みの空間モデルで補正し、建物側に固定アンカーを置かずに自己位置を推定する空間 AI。施設の図面など既存情報を活用しつつ、専用インフラの敷設を抑えて導入できる。

価値は、位置を知ることより、その先にある。人や資産の移動を継続データにできれば、工場・倉庫の動線改善、保守記録、技能分析、災害現場での所在把握など、見えにくかった現場の動きを可視化できる。さらに、空間データは運用 AI や Physical AI が現実世界を理解する基盤にもなる。既存端末を入口に、現場の「動き」を継続的なデータ資産へ変えられる実装性と、そのデータを次世代 AI の基盤へつなげる発展性が評価された。

■モビリティイノベーション賞

雪国の危険・重労働を無人化する国産陸上ドローン「除雪ドローン®」

エバーブルーテクノロジーズ株式会社
(Japan Mobility Show Bizweek 2026 出展者)



【案件概要】

遠隔操作・自動運転に対応した小型・無人の電動除雪機。RTK GNSS による高精度測位や 2D LiDAR 等を活用し、設定したエリアの除雪経路を自動生成して走行できます。小型車体による狭所対応、電動駆動による静音性に加え、障害物検知時等の自動停止機能を備え、人が立ち入りにくい場所や危険・重労働な除雪作業の省人化・安全性向上を支援します。

【選評】

豪雪地域では、人口減少と高齢化で除雪の担い手不足が進む一方、除雪は暮らしや物流を維持するために欠かせない。また、除雪作業は重労働でもあり滑りやすく、転倒や事故の危険も伴う。エバーブルーテクノロジーズの「除雪ドローン®」は、水上ドローンで培った制御技術を陸上へ展開した小型電動 UGV。4 輪独立電動 AWD による強い押す力と走破性を備え、RTK GNSS や 2D LiDAR を用いた遠隔操作・自動走行に対応する。

除雪という課題を起点にしながら、運搬、牽引、警備、工場・建設現場などへ広げられる汎用プラットフォームとして設計した点も特徴だ。人が危険・重労働を担ってきた現場を小型モビリティに置き換えることで、省人化だけでなく、担い手が減っても地域や産業の機能を維持できる可能性を示す。現場導入を重ねながら、将来の複数台運用やさらなる自律化へつながる発展性にも期待が寄せられた。

<CEATEC AWARD 2026 について>

CEATEC AWARD 2026 は、CEATEC 2026 に展示される（モビリティイノベーション賞を除く）技術・製品・サービス等の中から、出展者が事前に応募した出展品・案件について、「CEATEC AWARD 2026 審査委員会」が学術的・技術的観点、市場性や将来性等の視点から、イノベーション性が高く優れていると評価できるものを審査・選考し、表彰するものです。

■各賞選考基準

1. CEATEC AWARD 大臣賞（建制順）

総務大臣賞

IoT/ビッグデータ時代における情報通信・ネットワーク・データ・AI 技術・IoT 技術の高度活用や、それらによるサービスの提供、AI ネットワーク化や地域社会におけるデジタル利活用など、CPS/IoT 社会の進展と Society 5.0 の実現に、最も寄与すると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）に対し、「CEATEC AWARD 2026 総務大臣賞」を授与します。

経済産業大臣賞

AI やロボット技術、ビッグデータ等を用いるなどにより、新たな価値を生み、暮らしや社会、ビジネス、産業における課題解決と変革を促すものづくり、IoT を利活用したサービス、また、産業の DX を推進する横断的な技術の開発など、CPS/IoT 社会の進展と Society 5.0 の実現に最も寄与すると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）に対し、「CEATEC AWARD 2026 経済産業大臣賞」を授与します。

デジタル大臣賞

グローバルレベルのデジタル社会の実現に向け、デジタルの可能性を引き出し、デジタルを最大限に活用しながら多様な課題解決をはかり、人びとがライフステージに合った最適なサービスを選択できる、豊かな暮らしと強靱な社会づくりに最も寄与すると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）に対し、「CEATEC AWARD 2026 デジタル大臣賞」を授与します。

2. CEATEC AWARD 優秀賞

全ての応募案件の中から、先進性、社会性、実現性、市場性、共創性など、多面的な観点から総合的に優れていると評価され、今後の産業・社会の発展や新たな価値創出への高い可能性を有すると認められる案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）を表彰します。

3. CEATEC AWARD 各賞

イノベーション賞

産業・ビジネス・社会・暮らしを持続的に維持し豊かに発展させる、Society 5.0 の実現に向けた新たな技術・製品・サービス・ソフトウェア・アプリケーション、それを含むソリューションやビジネスモデル等の案件を広く対象とし、先進性や具体的実現性、社会への貢献性等に優れると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）を表彰します。

トランスフォーメーション賞

デジタル技術や先進技術を活用し、産業・ビジネス・社会・暮らしに新たな変革をもたらす技術・製品・サービス・ソリューション等を対象とし、革新性、実現性、社会的インパクト等の観点から優れると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）を表彰します。

グローバルイノベーション賞

国外からの出展者による展示製品・サービス・技術を対象とし、先進性、具体的実現性、市場性、社会への貢献性等の観点から優れると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）を表彰します。

ネクストジェネレーション賞

先進的な技術・製品・サービス・ソフトウェア・アプリケーション・ビジネスモデル等を開発し、新たな市場や社会価値の創出に挑戦するスタートアップ企業や、社会実装を目指す大学・研究機関等からの応募案件を対象とし、技術力、将来性、市場性、社会への貢献性等の観点から優れると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）を表彰します。

モビリティイノベーション賞

モビリティ関連の技術・製品・サービス・ソリューション等を対象とし、先進性、実用性、社会実装性、未来社会への貢献性等の観点から優れると評価される案件（製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション等）を表彰します。

■CEATEC AWARD 2026 審査委員会

学会/大学 ※順不同

一般社団法人情報処理学会／一般社団法人電子情報通信学会／一般社団法人映像情報メディア学会／一般社団法人電気学会／一般社団法人人工知能学会／国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学

総研・メディア関連 ※順不同

株式会社MM 総研／株式会社日経 BP／アイティメディア株式会社／株式会社テクノコア／株式会社日刊工業新聞社

オブザーバー

総務省／経済産業省／デジタル庁 ※建制順

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA） ※CEATEC 2026 主催団体

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ） ※CEATEC 2026 共催団体

一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ） ※CEATEC 2026 共催団体

【 CEATEC 2026 公式 Web サイト: <https://www.ceatec.com/> 】

名 称 : CEATEC 2026 (シーテック 2026)
会 期 : 2026 年 10 月 13 日(火)~16 日(金) 10:00~17:00
会 場 : 幕張メッセ
入 場 : 無料 (全来場者登録入場制)
主 催 : 一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
共 催 : 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)
一般社団法人ソフトウェア協会 (SAJ)
併 催 : Japan Mobility Show Bizweek 2026
